Sanriku-geopark
第１０６号
令和７年５月号

さんりくジオだより

三陸ジオパーク推進協議会

《宮古短大　まちのフィールドワーク》

岩手県立大学宮古短期大学部との連携協定に基づく「総合三陸学」の授業が４月から本格的に始まりました。１年生の現地学習では、宮古市と山田町を巡る「まちのフィールドワーク」を５月１４日に実施。風が心地よい初夏を思わせる陽気の中、ジオパークをはじめ、地域の歴史や文化、産業や津波災害について学ぶ内容となりました。

総勢約１００名が大型バス２台に分かれ、「三王岩」「田老の防潮堤」「津波遺構たろう観光ホテル」と「鯨と海の科学館」「山田湾」を訪問し、現地ガイドの案内や車内で同乗した認定ガイドからいろいろな地域の説明に耳を傾け感心していました。

岩手県内陸のほか秋田県や青森県出身の学生も多く、初めて聞くジオの話にとても関心が高く、今回の時間を楽しんでいたようです。現地に出向きその地域を学ぶという「ジオパーク学習」は大学生対象にも最適で、今後も継続して毎年実施していく予定です。

遊歩道を下り三王岩をバックに

旧防潮堤の上で当時の話を聞く

鯨と海の科学館では２班交代で

山田湾口が見える展望台にて

令和7年度 三陸ジオパーク学術研究助成金 の募集について

三陸ジオパークでは、学術調査、研究活動等の学術研究を支援することにより、学術資料の蓄積及び活用を促進し、ジオパーク活動の活性化を図ることを目的として、調査研究に要する経費を助成します。

詳しくは下記のHPをご覧ください。ご応募お待ちしております。

学術研究助成金 の募集について（お知らせ）

○事務局新メンバー紹介

４月より三陸ジオパーク推進協議会事務局に着任いたしました、長澤輝一（ながさわきいち）と申します。県庁職員としては今年で６年目ですが、昨年度までは盛岡広域振興局の経営企画部で、主に市町村への補助金事業の取りまとめや盛岡広域管内のＩＬＣや多文化共生の理解促進に向けた普及啓発の事業等を担当しておりました。またＪＲ山田線の利用促進の検討のため、盛岡市や宮古市の担当者と意見交換を行い、市の取組の情報発信を実施してきました。

このたび三陸ジオパークの担当となり、これまでの業務とはまた異なる分野で、勉強の毎日でございますが、自分なりに理解を深め日々の業務に反映させていければと思っております。また、構成16市町村をはじめとした関係者の皆様と一緒に力を合わせ、三陸エリアをより盛り上げていきたく思っておりますので何卒よろしくお願いいたします。

メガネが似合う長澤さん

ところで私事ではございますが、今回は初めての転居を伴う異動となりました。５月に入り宮古市での暮らしも徐々に慣れてきましたので、居酒屋や喫茶店等々、様々なお店を巡ろうと秘かに企んでいます。
随時、情報提供を受け付けておりますので、ここは絶対行った方がいい！といった三陸エリアのおすすめどころがございましたら、是非教えてください。普段は宮古地区合同庁舎の２階におりますのでお気軽にお声掛けいただければ幸いです。

《北部ブロック》ガイド及び関係者等交流研修会を開催

３月８日（土）八戸市にて、ジオサイトやジオに関する知識・スキル向上とガイド・行政など関係者相互の繋がり構築を目的とした研修会があり、19名が参加しました。北部ブロック会議の主催で、潮風アウトドアガイド協会のみなさまの協力により、現地サイトでの実践とワークショップでのプログラムづくりで充実した研修会となりました。

第１部　ジオトレッキング

田高ガイド（中央奥）の解説を熱心に聞く参加者

蕪島～葦毛崎展望台までの１時間半のトレッキングコースを歩きながら、６名のジオガイドの方々に解説していただきました。

地質の解説のみならず、固有の植物や野鳥の生態の解説があったり、ネイチャーゲームを挟んだりすることで、それぞれのガイドの個性を楽しめる貴重な機会となりました。

また、それぞれのガイドに対し他のガイドが補足・修正を入れる場面もあり、参加した方々はジオの知識を高めることができたと思います。

第２部　講義・ワークショップ「稼げるためのガイドプログラム」

後半のワーキングではグループ毎にガイドツアー作成し発表

戸川拓馬ガイドを講師に迎え、ガイドで稼ぐためのポイントとして、「ガイドプログラムを自身で企画すること」「関係者との繋がりを増やすこと」「プログラムを継続し、ガイド能力を向上させること」などについて講義いただきました。

後半のワークショップでは、参加者を４つのグループに分け、講義のポイントを押さえつつ「採算の取れるガイドプログラム」を実際に作成し、ジオサイトの映え写真で図鑑を作るガイドツアー「＃My三陸ジオ図鑑」など、ユニークなプログラムが発表されました。

☆参加者の声☆

印象に残った点

・認定ガイドが勢ぞろいでガイドをしてくれたことが印象的だった。
・海成段丘の湧水が氷になり、水産業発展の元になったという話は非常に驚きで勉強になった。
・講義では、価格設定や対象設定など、実践的な面が重視されているのは良いと思った。特に、稼げる点を取り上げており、現実味が増すのにつながると思う。

今後のガイド・ジオパーク活動について

・まずは楽しい受け入れを企画する！次にジオパークを絡めた地域の宝物を紹介する。
・場所の地理的な状況より、ストーリーの流れを重視したガイディングが可能かどうか検討していきたい。

編集後記：「１０６号」と聞くと、宮古市と盛岡市を結ぶ高速路線バスのことを連想するのは、私だけでしょうか？（笑）　早くて安い移動手段を選ぶことは常かもしれませんが、宮古街道にもその歴史があり、周りの景色をジオで楽しむツアーイベントも実施されています。
何か所も大きく蛇行する閉伊川沿いには旧道があり、JR山田線は川をわたる多くの橋とたくさんのトンネルをぬけて走ります。新緑の季節におすすめな小さな旅が楽しめます。　“ジオ発見ツアー”　かも♡　　～と～

三陸ジオパーク推進協議会
〒027-0072
岩手県宮古市五月町1－20
（宮古地区合同庁舎2階）
TEL:0193-64-1230
FAX:0193-64-1234
info@sanriku-geo.com
https://sanriku-geo.com/
facebookはこちら！